

担当教員 *teacher in charge*



弐 和順

北海道大学大学院  
文学研究院 教授

次の3点を到達目標とします。

- (1) 『列女伝』に見える文学的な特色を自分の言葉で表現できる。
- (2) 『列女伝』に関する絵画を読み解き、その特徴を説明できる。
- (3) 漢文訓読法の基礎を身につけ、みずから漢文を読解できる。

到達目標

初回の授業は、ガイダンス、最終回の授業は、全体のまとめとします。

その間の13回の授業では、『列女伝』の母儀伝、賢明伝、仁智伝、貞順伝、節義伝、弁通伝における代表的な文章をとりあげて読解の後、多角的に考察します。また、各伝記に関する絵画を読み解きます。

授業計画

北海道大学 前期提供科目

芸術と文学

# 漢文学入門

漢文学入門の素材として、前漢の学者、劉向が編集した『列女伝』をとりあげ、同書に収められた中国古代の女性の伝記を読解するとともに、各伝記においてポイントとなる場面はどこか、また編者は主人公の女性のどのような言動を評価したかなど、さまざまな角度から考察します。

テキスト：プリントを配付します。